

令和2年度 事業報告 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)

事業概要

当センターにおいては、社会参加への意欲ある健康な高齢者のために、地域社会と連携を保ちながら、公益性を重点に「高齢者の福祉の増進、活力ある地域社会づくりに寄与すること」を念頭に、安全で適正な就業の推進、会員拡大に向けて新入会員の募集を図る方策に取組んでまいりました。

事業実績については、会員不足が顕著になっている中、解消を図るための方策として、広報紙「シルバー大島」・会報誌「シルバー大島会報」並びに町広報誌への掲載等により会員募集に力を入れてまいりました。

また、ボランティア活動、作品展・ゲートボール大会の開催等により普及啓発・会員増強に努め、当センターへの住民の皆さまのご理解を得る活動をしてきましたが、会員増強が思うように図れなかつたこともあり、長年受託契約していた「岡田船客待合所清掃」委託事業の継続を断念した事が大きな要因となり、特に公共事業の契約金額、受託件数等の前年度比は減となりました。

令和2年度事業実績一覧表

(金額単位円)

		令和2年度	令和元年度	比較
契約金額	公共	105,582,927	120,860,053	△ 15,277,126
	民間	25,862,346	28,204,764	△ 2,342,418
	合計	131,445,273	149,064,817	△ 17,619,544
受託件数	公共	568	658	△ 90
	民間	542	591	△ 49
	合計	1,110	1,249	△ 139
就業延実人員	公共	3,162	3,461	△ 299
	民間	1,514	1,679	△ 165
	合計	4,676	5,140	△ 464
就業延日人員	公共	16,239	18,225	△ 1,986
	民間	4,414	4,446	△ 32
	合計	20,653	22,671	△ 2,018
配分金	公共	92,403,950	102,020,323	△ 9,616,373
	民間	22,900,089	23,770,864	△ 870,775
	合計	115,304,039	125,791,187	△ 10,487,148
材料費	公共	5,609,983	9,480,987	△ 3,871,004
	民間	1,468,824	2,258,992	△ 790,168
	合計	7,078,807	11,739,979	△ 4,661,172
事務費	公共	7,568,994	9,358,743	△ 1,789,749
	民間	1,493,433	2,174,908	△ 681,475
	合計	9,062,427	11,533,651	△ 2,471,224

事 業 報 告

1. 就業開拓提供事業

公共事業につきましては、大島町・東京都及び関係諸団体に対して、就業開拓等日常的に連携を深めてまいりましたが、会員不足の解消が図れず、「岡田船客待合所清掃」委託事業の契約辞退や、「町庁舎清掃委託」事業等の契約内容変更（清掃回数縮小）等により、前年比約 12.6%減の契約実績となりました。

また、民間の契約金額についても約 8.3%の減とともに、需要はあるものの会員不足により受託件数も減となりました。

今後の会員増強策に課題を残すこととなりました。

2. 普及啓発事業

広報紙「シルバー大島」年2回の発行、会報誌「シルバー大島会報」隔月発行、また、大島町のご協力により「広報おおしま」に会員募集記事を掲載、各団体主催行事等へのボランティア参加活動、当センター主催の作品展・ゲートボール大会の開催等については、コロナ感染症拡大により開催が危ぶまれましたが、感染予防対策を十分図った上で、会員・役職員の協力により実施し、地域住民との交流を図るとともに、就業開拓及び会員拡大を同時に推進する活動に努めました。

3. 研修・講習事業

東京しごと財団・第2ブロック主催の各種研修会については、コロナ感染症拡大の影響により、集合形式の会議・研修を行わず、書面或いはオンラインによるリモート形式で役職員が受講等を受け報告することにより、情報の共有化が進み、安全就業・適正就業の推進を図りました。

4. 調査研究事業

会員の適正な就業を推進するとともに、当センターの適正な組織運営と体制作りを図るため、理事会及び各委員会と事務局との連携を密にし、大島町・東京しごと財団等の協力を得て、法令遵守、適正な請負契約、就業のあり方等について改善に努めました。

5. 相談事業

入会を希望する相談及び会員に対する就労相談を隨時センター施設内で実施するとともに、事業委員会ではコロナ感染症拡大の影響により、就業現場訪問を行わず、アンケート調査による会員の相談事業を実施した。

また、今年度は15名の方が新規入会され、更に会員増強を図る目的で平成28年度に制定した「会員紹介報奨制度」を活用した、既存会員による声掛け運動により、新規入会者の内7名の方が入会しました。

しかし、過去3カ年の会員数を見ても、30年度（233名）、元年度（231名）、2年度（223名）となっており、会員減少の歯止めとともに益々の会員増強に力を入れて行きます。

6. 安全就業推進事業

シルバー事業の最優先課題でもある、安全就業推進のための転倒事故防止や、熱中症対策、コロナ感染症予防対策等の会員へのお知らせ（会報誌「シルバーハジマ会報」）により、タイムリーな周知を行いました。

また、安全管理委員会による就業先への安全パトロールの実施により、安全就業の徹底を図り「事故ゼロ」を達成することが出来ました。

なお、東京都内センターにおいて、就業途上での車両事故（自転車含む）の報告が多くなっています。当センターにおいては幸いに大きな事故の事例もなく、会員の皆さまの安全に対する意識も高いと思われますが、引き続き車両事故防止等の対策を図って行きます。

7. 法人運営

公益社団法人の運営について、理事会のもとに組織的で機能的な事業運営を行うため、総務委員会において関係規程の改正（案）、事業計画（案）、収支予算（案）等の検討を行い、法令遵守のもと運営全般の把握や事務の効率化等について、理事会及び各委員会を中心とした組織運営に努めました。

また、適切な経理処理と運営全般に繋がる会計期中・決算及び業務監査を行い、監査機能の充実を図りました。